



宮城県高等学校 PTA 連合会

進路だより

令和7年度
第5号

県高P連進路対策委員会発行 宮城県白石工業高等学校 PTA 編 発行日 令和8年2月26日

令和7年度、県高P連進路対策委員会では、年5回リーフレット（進路だより）を発行しています。委員校における進路対策関連の主な取り組みを紹介いたします。第5号は宮城県白石工業高等学校が担当します。

保護者向け進路ガイダンス

6月26日(木)に3学年の保護者を対象とした「保護者向け進路ガイダンス」が開催されました。

就職については鈴木美保子様より、進学については森川朋泰様より、進路実現までの具体的な取り組みについてのお話をいただきました。



『ルールを守ること』

進路指導部長 萱沼 俊一

長年「コミュニケーション能力」や「意欲」が、企業で求められる人材の代表的な要素として挙げられています。コミュニケーションとは、情報共有や意思疎通のことであり「コミュニケーション能力」は、それらをスムーズに実行することができる力のことです。意欲とは、積極的に目的を実現しようとする積極性のことで行動力の源となっているのが、まさしく「意欲」になります。

近年、「コミュニケーション能力」や「意欲」以上に、企業が求めている要素があります。それは、『ルールを守ること』です。ルールとは規則のことで、必ず守らなくてはいけない決まりごとを意味します。

では、『ルールを守る力』を高めるためにはどのような方法があるのでしょうか。皆さんは自身の力を高めるために、様々なトレーニングを積んでいます。身体能力を高めるためには身体に負荷を与え、学力を伸ばすためには脳をはじめとした様々な知覚に刺激を与えなければなりません。

『ルールを守る力』を高めるためには、身体能力や学力と同様に積み重ねによる地道なトレーニングが必要です。最初は、「モラル」といわれている倫理感や道徳力を高め、次いで「マナー」といわれている礼儀作法を身に付けます。徐々に段階を踏みながら「心のトレーニング」を継続していくことで、『ルールを守る力』を高めることができます。

ルールといえば、「窮屈な感じ」や「縛られるイメージ」があることと思います。また、ビジネスパーソンの中にはルールに対してネガティブなイメージを抱いている人もいます。しかしながら、近年「コンプライアンス」という言葉を耳にする機会が増えました。それは皆が、コンプライアンスを遵守することによって安全・安心が保障され、社会の平和が保たれることに気付いたからです。

ルールや社会規範を守ることによって謙虚さや素直さが育まれ、人としての協調性や忍耐力が向上します。その結果、ひとりの人間としても飛躍的に成長することができるのです。在校生の皆さんには、残りの高校生活で『ルールを守る力』を高めて欲しいと願っています。また、卒業していく3年生の皆さんには『ルールを守る力』を高めることを意識しながら生活してほしいと願っています。

3年生の皆さんは、学業だけではなく資格取得や部活動にも存分に力を発揮してくれました。各々が目標を定めて、進路決定に向けて精一杯尽力していただけたことに心よりお礼申し上げます。今後も、母校である白石工業高校を愛し、卒業生として益々活躍していくことを祈念しています。